

人間としての在り方生き方に関する教育 学習指導案

日 時：平成○年○月○日（○）第○限

指導者：主幹教諭・横張亜希子

場 所：3年○組教室

- 1 主題名 家族を大切にするために
内容項目 4－（6）家族の愛情

- 2 資料名 一瞬一瞬を楽しんで
（出典 『明日をめざして―高校生のための「人間としての在り方生き方に関する教育」―』埼玉県教育委員会）

- 3 主題構成の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目4－（6）「自分の家族とのかかわりや家庭生活の在り方を見つめ、家族の気持ちや支えに感謝するとともに、家族の一員として助け合い、深い愛情をもって接することの大切さを理解する」をねらいとしている。生活様式の変化や核家族化とともに、家庭生活の在り方や家族のかかわり方も変わってきている。本資料をもとに生徒同士話し合いをし、現時点での自分の親に対する気持ちを確認するとともに、親になったときの自分を想起することにより、子どもに対して無償の愛をもって育てようとする心を育て、家族の在り方、家族の一員としての自分の生き方、親としての在り方について考えるようにする。

＊ 小学校からの連続性

小学校低学年 4－（3）父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。

小学校中学年 4－（3）父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。

小学校高学年 4－（5）父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。

中学校 4－（6）父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

（2）生徒について

（略）

（3）資料について

本資料は、家で飼っていた猫が事故で亡くなったときの息子たちの様子や末娘のクラスが荒れて授業に支障が出た際に開かれた保護者会から帰った後の会話をとおして、家族への感謝や思いやり、親としての願いが作者の子育ての体験から感じられるものである。この資料の次男の「ちくしょう」という言葉の奥に隠された子どもの心の奥深くにあるものを汲み取れなかった筆者の思いや末娘に大人の論理を押し付けていたことに気づかされたことをとおして、筆者の「子育ての一瞬一瞬を楽しんで」という、親としての立場の在り方を生徒に気づかせるとともに、家族の在り方、家族の一員としての自分の在り方、そして自分が親となったときの在り方について考えるようにする。

4 事前指導

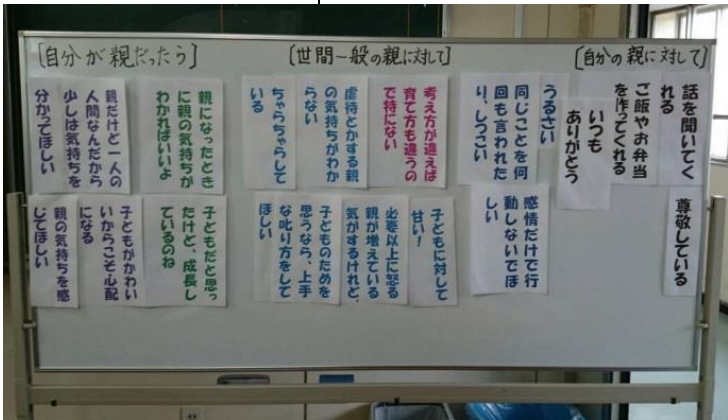
- ・親になるための学習において、親としての在り方について考える。
- ・道徳のノートに、親になるための学習で学んだことを記入する。(資料2)
- ・資料を熟読させ、資料を読んでどのようなことを感じたかを各自まとめる。
- ・事前アンケートを実施する。(資料1)

5 学習の過程

(1) 本時のねらい

子どもとして親から愛されていることを知り、親となったときに子どもを愛せる心を育てるとともに、家族の一員としての自分の在り方を考える。

(2) 学習指導過程

段階	学習内容	予想される生徒の心の動き	指導上の留意点
導入	○先日の「親になるための学習」についての振り返り ○事前アンケートについて共感できることはありますか。(資料1) 	・自分も親にいろいろ言われるとうっとうしい。 ・お弁当を作ってくれてありがたいと自分も思う。	・座席をコの字型にする。 ①生徒同士の顔が見える。 ②教師が生徒の傍に行き声掛けをしやすい。 ③4人グループになる際、前の席の生徒が後ろを振り返るとグループを作りやすい。
		①同じ意見でも発言する ②相手を傷つける発言はしない ③相手の発言に対して笑わない ④他人の意見をしっかり聴く ⑤相手の意見に質問する	・生徒が安心して話せるよう、話しやすい雰囲気をつくる。 ・話合いのルールを徹底する。
	資料「一瞬一瞬を楽しんで」の範読を聞く。		・この親をどう思うかを考えさせながら聴かせるようにする。

展開 (前段)	○資料のこの親をどう思いますか。 ●こんなに後悔ばかりしている親をあなたは親として許せますか、許せませんか。 ●あなたがそう思う理由は何ですか。	・もっと子どものことを理解してほしい。 ・泣かない二男を「冷たい」と思うなんて、ひどい。でも、こうやって子どもから教わりながら親も成長していくんだなあと思った。親も子どもと一緒に成長していけばいいのではないか。 ・「生まれ変わっても…私のお母さんのままでいて。」と自分の子どもに言われたら幸せだと思う。自分もこんな親になりたい。 ・許せる…失敗しても、反省しながら親として成長している。 ・許せない…子どもの気持ちを分かってあげられていないところがだめだと思う。 ・後悔しながらも、子どもを理解しようとしている。 ・「学校は偏差値が高い方がいい」などと考えていたのに、子育てをしながら考え方が変わったと言っているから。	(全体活動) ・資料の中の「親」について自分の考えを述べるようにする。 ・親としての自分を想起するようにする。 ・生徒自身が「親はどんなことを考えているか」に気づくようにする。 ・アンケートを振り返り、自分のことと関わらせて考えるようにする。
	この資料の親や生徒の親のように、親は試行錯誤しながらも子を愛し、子を思いながら、子育てしていることに気づく。子ども側も優しくしなければと分かっている、そうすることができない自分に気づいた上で、家族の一員としての在り方について考える。	○家族の大切さはわかっているけど、どうして親に対して優しくできないのでしょうか。 ◎親に対して優しくできないあなたは、どういう気持ちでいればいいのでしょうか。	・アンケートを振り返り、自分を見つめるようにする。

許せる、まあまあ許せる、あまり許せない、許せないの発問をした際、「この親何か悪いことしたっけ？」とつぶやいた生徒がいた。こういった生徒のつぶやきを拾いながら補助発問を活用し、生徒の心に揺さぶりをかけられるようにする。

できる限り生徒の話合いをじっくりさせたいため、ワークシートは、本時のねらい、メモ欄と道徳の授業の展開後段で取り組む「自分の考えを書き留める」欄のみとした。(資料3)

生徒からの答えが「行為」ばかり出てきた。許せるか、許せないかの発問の際、「わかっているけどイライラする」など、「行為」で出てきたため、ここで、「何でイライラするんだろう？」と親の内面の部分を探っていくことによって自分の内面も出せたのではないかと考えられる。

		・どうして親はこんなことを言うのかを考える。 ・ストレスを上手に発散して、親のことも考える心の余裕をもつ。	(グループディスカッション) 4人で話し合ったことを用紙に書かせて黒板に掲示する。
展開 (後段) 振り返りの時間	○みんなで話し合い、考えたことと、この作品から感じたことから家族の在り方や家族の一員としての在り方についてどんなことを考えましたか。道徳ノートに本時で学んだこと、考えたこと、感じたこと、これからの生活に活かしたいことを記入しましょう。	・家族の気持ちを理解しあえる家族 ・助け合える家族 ・お互いを思いやれる家族 ・各々を尊重しながら生活している家族でありたい。 ・無償の愛 ・子どもの気持ちをしっかり聞いてあげる親になる。 ・子どもの自主性に任せる。	・自分の考えを書き留めることで、考えを整理できるようにする。 ・事前にまとめておいた感想と話し合ったことをもとに、家族の在り方について考えるように促す。
終末	○教師の説話を聞く。		・親として愛情を注いでもうまいかなにかあることに気付かせながら、家族の一員としての自分の考えを見つめ直す機会とする。

6 事後指導

家族に感謝の気持ちを伝えるとともに、家族の一員として協力できることは何かを考え、実践していくよう指導する。親になるための学習で学んだことを結び付け、将来、よりよい家庭を築いていくための基盤となる自己を確立していくよう、生徒が記入した道徳ノートにコメントを書く等の個別対応をし、道徳ノート(資料2、3)をとおして指導する。

7 板書計画

共育	家族の在り方・家族の一員としての在り方	家族の大切さを分かっている自分	一瞬一瞬を楽しんで 本時のねらい 家族の一員としての在り方について考える。 この親をどう思う？

8 評価

自分と家族とのかかわりや家庭生活の在り方を見つめ、家族の大切さを理解し、家庭生活を向上しようとする意欲を高めることができたか。

<授業風景>

親の学習

グループワークの様子



道徳の授業「一瞬一瞬を楽しんで」

コの字型の座席配置で4人ずつの話し合いの様子



コラム

アドベンチャー教育と道徳教育の関連性から

① コンフォートゾーンをつくる。

道徳の授業が他の授業と違うところは、「話し合い」を重視することである。なぜ、話し合いが重要かというと、道徳的価値の高まりは、人それぞれ違い、価値が高い子どももいれば、低い子どももいる。これは、教科にも言えることで、特に中学校ではクラスの学力差は大きい。高校では、学力は同程度かもしれないが、道徳的価値には差があるのではないだろうか。そこで、話し合いを充実させることで、価値が低い子でも高い子から学べるように、また話し合いの中で、より道徳的価値が高いものへの気づきがあるようにしていくのである。

ここで、必ず、話し合いの基盤となる、学級経営が問題になる。自分の意見を受け入れてくれる、なんでも話し合える雰囲気が必要なのである。つまり、コンフォートゾーンを意図的に作ることで、お互いの意見を尊重し合う雰囲気をつくり、話し合いを充実させれば、クラスの道徳の授業がより深まりあるものになるであろう。

* コンフォートゾーン…安全な場所

道徳授業アンケート<事前>
(箇条書きでよいです。)

氏名_____

1 あなたは、「子ども」の立場から自分の親に対してどのように感じたり、考えたりしていますか。

例) うっとうしい。お弁当を作ってくれて感謝している。

2 あなたは、「子ども」の立場から世間の親に対してどのように感じたり、考えたりしていますか。

3 上の1, 2のようなことを言う「子ども」に対して、あなたが親だとしたら、どのように感じるでしょう。

例) 親だっていろいろ考えながら面倒見ているのだから、親の気持ちも察してほしい。

道徳ノート 親になるための学習をとおして

氏名 _____

親になるための学習から学んだこと



あなたにとって家族とはどんな存在？



自分の将来を考える上での悩みや不安(あなたがいつか親になるとしたら…)



自分が親となる上で大切だと思うこと



親になるための学習&道徳授業をとおして

学んだこと、感じたこと、考えたこと、今後の生活に活かそうと思ったこと

氏名 _____

話合いのメモ

[illegible]

道徳学習を終えて

氏名 _____

道徳の授業をとおして考えたこと、学んだことを日常の生活で活かしているでしょうか。

行動したことやこれから行動したいと思っていること、自分の在り方などを書き出してみましょう。

「本当の思いやり」について

道徳の授業で学んだことを活かして行動したことを書いてみよう。(もしくは、これから行動しようと思っていること)

「家族愛」について

あなたは家族の一員として、どう在ったらよいと考えているだろうか。

「家族愛」について

自分が親になった時に、どんな親で在りたいと考えているだろうか。



道徳学習の感想、気づいたこと、メッセージなど、自由に書いてください。